



2008.09.13(土)

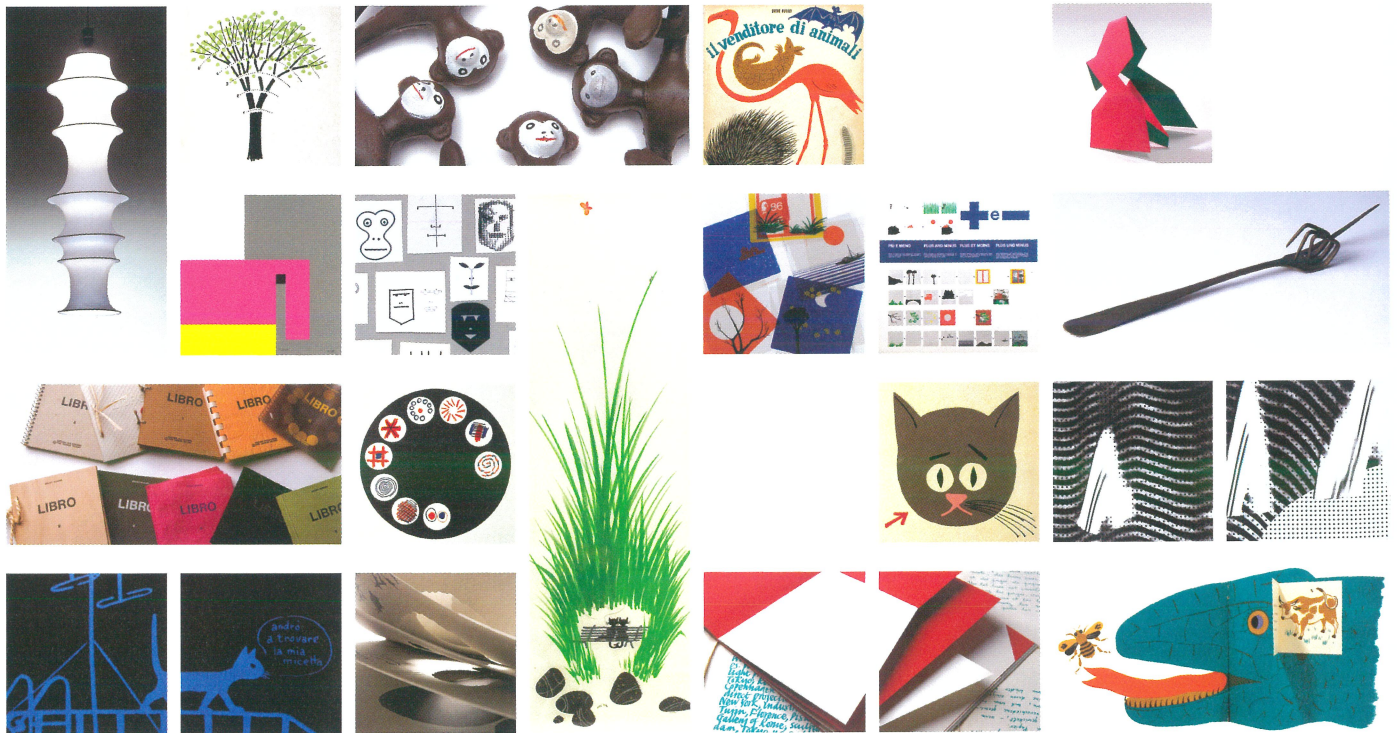
↓
10.26(日)



刈谷市美術館
Kariya City Art Museum

生誕100年記念 ブルーノ・ムナリ展 あの手 この手

BRUNO MUNARI



開館時間＝午前9時→午後5時(入館は午後4時30分まで)

休館日＝9月16日(火)・22日(月)・24日(水)・29日(月)／10月6日(月)・14日(火)・20日(月)

入場料＝一般800円(600円)・高大生600円(400円)・中学生以下無料

*()内は前売及び20名以上の団体料金。

*身体障害者・精神障害者保健福祉・療育の各手帳所持者及び付き添いの方(1名)は入場無料。手帳をご持参ください。

主催＝刈谷市・刈谷市教育委員会・刈谷市美術館・朝日新聞社

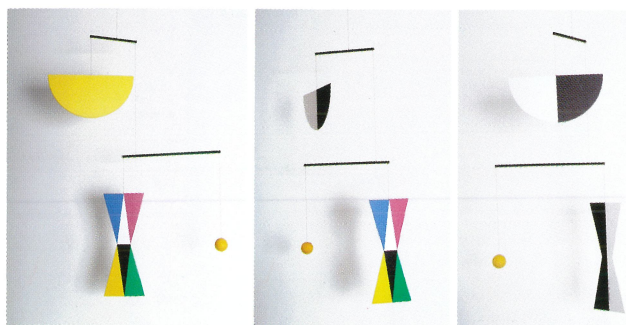
協力＝イタリア文化会館・コッライニ出版・新生紙パルプ商事

後援＝社団法人日本国際児童図書評議会(JBBY)・愛知県教育委員会

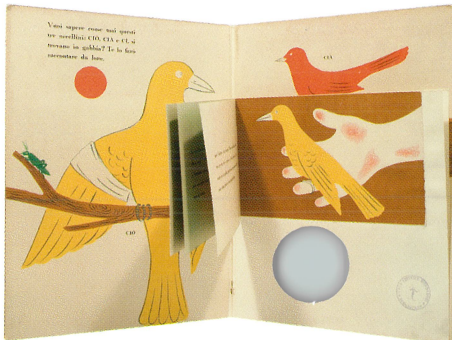


ブルーノ・ムナリ展
あの手 この手
入場割引券

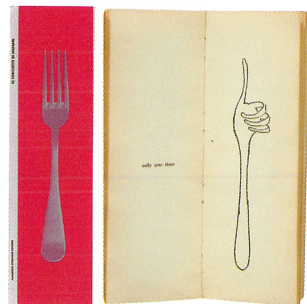
ブルーノ・ムナリー(1907-1998)は、絵画・デザイン・美術教育など多岐にわたる分野で活躍し、夢とユーモアにあふれた独創的な作品を世に送り出したイタリアのアーティストです。ムナリーの生誕100年を記念して企画された本展は、ムナリーが生涯にわたってかかわり続けた「本」の仕事を手がかりにして、ムナリーの思考の軌跡をたどります。初版の書籍を中心に、日本ではほとんど紹介されてこなかった未来派時代の油絵やスケッチ、絵本原画、実験映像なども含めた300点以上の作品で構成し、ムナリーの仕事をわかりやすくご紹介します。10に分けたコーナーの冒頭には、ムナリーをリスペクトしてやまない駒形克己氏デザインの、ダンボールを用いた展示ケースにシンボルとなる作品を展示します。柔軟な発想と、自由なものの見方を大切にされたムナリー。近年、イタリアと日本を中心に復刻が相次ぎ、あらためて注目を集めています。大人も子どもも夢中にさせるムナリーの魅力をぜひお楽しみください。



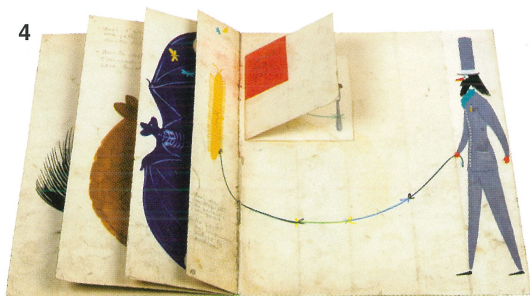
1



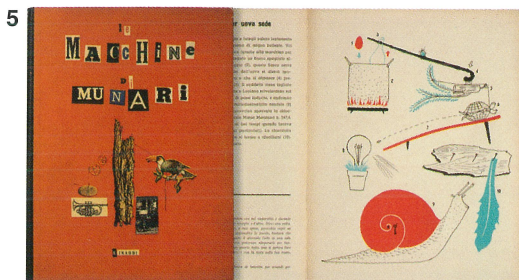
2



3



4



5

1. 『役に立たない機械』
1993年再制作(オリジナルは1933年) 板、プラスチック、糸
2. 『3つのことりのものがたり』(ムナリー文庫 第5号)
1945年 モンダドーリ出版 メラーノ市立図書館蔵
3. 『ムナリーのフォーク』
右:1958年 ジオストラ出版
左:1991年 マウリツィオ・コッライニ出版
4. 『どうぶつはいかが?』習作
1945年頃 ガッシュ、鉛筆、紙 メラーノ市立図書館蔵
5. 『ナンセンスの機械』(児童青少年のための本)
1942年 ジュリオ・エイナウディ出版 宇都宮美術館蔵

左上:書簡(ポートレート:花半禮聖妃宛て)1990年 ペン、紙

会期中の催しもの

1 ワークショップ 「ひとつがふたつ」

9月13日(土) 13:30→16:00

講師=駒形克己さん [造本作家・デザイナー]

対象・定員=小学生以上の親子15組

参加費=500円(レクリエーション保険代+材料費)

申込締切=9月6日(土) 必着

親子でチャレンジするプログラムです。

紙を切ったかたちを作って・・・

どんな絵本ができるでしょう?

2 講演会 「ムナリーの本作りの謎 —「読めない本」から絵本まで」

10月5日(日) 13:30→15:00

講師=松岡希代子さん [板橋区立美術館学芸員]

会場=美術館2階研修室

定員=100名(先着順) 当日受付

*聴講無料(高校生以上の方は要覧覧会チケット)

『ムナリーのフォーク』の絵本から突然消えた言葉とは?

『読めない本』は何冊ぐらい作られたのか?

展示に加えられなかった作品も含め、

数多くのスライドをまじえて、

ムナリーの本作りの謎についてお話いただきます。

1と5の 申し込み方法

「往復はがき」か「Eメール」にて、参加したいプログラム名、参加者名(ふりがな)、住所、TEL、年齢(学年、学校名、保護者名)をご記入のうえ美術館までお申し込みください。なお、「Eメール」の場合は、件名を【参加申し込み(プログラム名)】としてください。また、「往復はがき」の場合は、返信用はがきにも住所と名前を記入してください。定員を超えた場合は抽選とし、結果をお知らせします。

あて先:〒448-0852 刈谷市住吉町4-5 刈谷市美術館 Eメールアドレス:bijyutsu@city.kariya.lg.jp

3 ギャラリー・トーク

9月17日(水)/10月1日(水)・8日(水)

13:30から約1時間

*聴講無料(高校生以上の方は要覧覧会チケット)

担当学芸員による展覧会解説ツアーです。

ご希望の方は、当日1階受付付近にお集まりください。

4 期間限定「カフェ・ムナリー」

10月17日(金)・18日(土)・19日(日) 11:00→15:00

お飲み物とお菓子を楽しんでいただく、

期間限定「カフェ・ムナリー」を開催します。

くつろぎのひとときをお過ごしください。

なお、開催日のお昼茶(お抹茶)はお休みとなります。

5 つくる←みるプログラム 「チャレンジ!しかけのある絵本」

9月23日(火・祝) 10:00→15:30

講師=山口百子さん [美術家]

対象=小学3年生~6年生 定員=24名

参加費=300円(レクリエーション保険代+材料費)

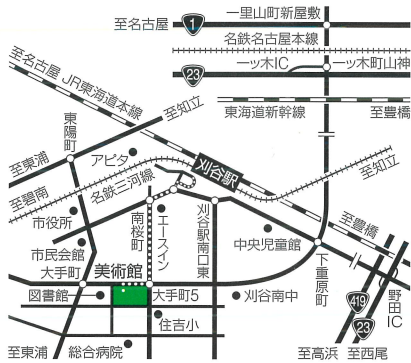
申込締切=9月12日(金) 必着

いつもと違う材料をつかって、

しかけのある絵本づくりにチャレンジします。

入場料	一般	高大生	中学生以下
当日	800円	600円	無料
前売・団体	600円	400円	

前売券の販売先:サークルKサンクス(愛知・岐阜・三重・長野県下の各店舗)、チケットぴあ、ファミリーマート他でお求めください。前売券の販売は、会期のおよそ1ヶ月前から9月12日(金)まで。※身体障害者・精神障害者保健福祉・療育の各手帳所持者及び付き添いの方(1名)は入場無料。手帳をご持参ください。



【交通のご案内】
電 JR・名鉄三河線「刈谷駅」下車、南口から徒歩10分
車 ※「刈谷駅」はJR「名古屋駅」から快速で約15分
名古屋方面より国道23号線(知立バイパス)
車 「一ツ木IC」から約5km ※駐車場あり(無料60台)

刈谷市美術館 Kariya City Art Museum

〒448-0852 愛知県刈谷市住吉町4丁目5番地
TEL:0566-23-1636 FAX:0566-26-0511
http://www.city.kariya.lg.jp/museum/



【表面の作品】

- a.「きりのなかのサーカス」1968年 エンペ出版 b.「イタリア人のジェスチャー辞典」1994年 アドククロノス・リーブリ出版 c.「黄色すきんちゃん」(子どもがいっぱい 第12巻) 1972年 ジュリオ・エイナウディ出版 d.「クーボ」1957年デザイン ダネーゼ社 e.「LPレコード:エネスコ ルーマニア狂詩曲第1番長調作品11」リコルディ社 f.「カエルのロミルダ」1997年 マウリツィオ・コッライニ出版 g.「フォークランド」1964年デザイン ダネーゼ社 h.「木をかこう」(描く、色をぬる、作る 第1巻) 1978年 ニコーラ・ザニケッリ出版 メラーノ市立図書館蔵 i.「ジジ」1952年デザイン、2001年 クラック j.「どうぶつはいかが?」(ムナリー文庫 第6号) 1945年 モンダドーリ出版 k.「旅行用彫刻」1965年 富山県立近代美術館蔵 l.「色彩のヴァリエーション」1995年 m.「祖先の存在」1970年 n.「ちっちゃな白ネズミなんかすかいか?」(「闇の夜」にイメージ) 1960年 o.「足したり引いたり」1970年企画 ダネーゼ社 目黒区美術館蔵 p.「おしゃべりフォークー失礼」岩淵旧蔵 q.「本の前の本」1980年 ダネーゼ出版 r.「電話で送ったお話」(少年少女のための本 第7巻) 1962年 ジュリオ・エイナウディ出版 メラーノ市立図書館蔵 s.「間違いの本」(少年少女のための本 第15巻) 1964年 ジュリオ・エイナウディ出版 メラーノ市立図書館蔵 t.「キャン・オリジナル・エレクトリック・ワーク」1984年 u.「闇の夜」1956年 ムッジャーニ出版 メラーノ市立図書館蔵 v.「読めない本 白と赤」1953年/1964年 デ・ヨング社 うらわ美術館蔵 w.「ぞうのねがい」(ムナリー文庫 第1号) 1945年 モンダドーリ出版 メラーノ市立図書館蔵 *i, q, u(右側のみ)、v. 撮影:大木大輔

本展をチケット売り場へお持ちください。
本券1枚につき2名、当日料金から
100円割引いたします。
なお、他の割引との併用は
できません。